※令和3年度以前入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　地理歴史　　科

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	2　単位	年次	3　年次
使用教科書	詳説　世界史B　改訂版　（山川出版社）						
副教材等	五訂版　グローバルワイド　最新世界史図表　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・昨年度学習した世界史Bを継続して学習します。
・初回授業までに昨年度の学習内容を振り返ろう。
・昨年度同様、教科書を事前に読み、授業の内容の予習をおこなうよう心がけよう。

2　学習の到達目標

・世界の歴史への興味関心を高め、主体的に探求していく態度を身につける。
・世界の歴史の大きな枠組みと流れをつかみ、地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら学習する。
・文化の多様性について理解し、多角的な視野から世界をとらえ、歴史的思考力を養う。
・資料を活用して学習した内容を発表し、適切に表現する力を身につける。

3　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心を高め、文化の多様性と現代社会の特質を踏まえて世界の諸課題について自ら考察し、主体的に授業に取り組むことができているか。	世界史を時間的なつながりや、空間的なつながりに着目して考察できているか。また、地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら判断し、周囲と協力して課題に取り組んでいるか。	世界史の諸資料に基づき、歴史的・経済的変化を把握するとともに、なぜそうなったかを説明するための的確な資料を収集できているか。	世界史の大きな枠組みと流れを、地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解しているか。世界の国々の政治・経済・文化など様々な観点を理解し、知識をして定着しているか。
評価方法	・授業への取り組み ・提出物 ・発表	・定期考査 ・ワークシート ・発表	・定期考査 ・ワークシート ・発表	・定期考査 ・ワークシート ・発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	第3部	前年度の復習と確認 第8章　近世ヨーロッパ世界の形成	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:授業内容を理解しようという姿勢で臨み、課題に対して協働して解決できる。 b:近世ヨーロッパの形成について、地理的な状況を確認し、世界の一体化に向けた動きがどのように進められたか考えられる。 c:課題に対し、教科書・資料集に基づいた適切な解答ができる。 d:出来事の因果関係を他者に説明することができる。	・ワークシートへの取り組み ・ペアとの取組・発表 ・定期テスト ・課題提出物
	第3部	第9章　近世ヨーロッパ世界の展開 第10章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:授業内容を理解しようという姿勢で臨み、課題に対して協働して解決できる。 b:近世、近代ヨーロッパの変革について多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。 c:課題に対し、教科書・資料集に基づいた適切な解答ができる。 d:出来事の因果関係を他者に説明することができる。	・ワークシートへの取り組み ・ペアとの取組・発表 ・定期テスト ・課題提出物
2	第3部	第11章　欧米における近代国民国家の展開 第12章　アジア諸地域の動揺	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:授業内容を理解しようという姿勢で臨み課題に対して協働して解決できる。 b:ヨーロッパとアジア各地でどのような変化がおこったのかについて適切に表現し、考えることができる。 c:課題に対し、教科書・資料集に基づいた適切な解答ができる。 d:出来事の因果関係を他者に説明することができる。	・ワークシートへの取り組み ・ペアとの取組・発表 ・定期テスト ・課題提出物
	第4部	第13章　帝国主義とアジアの民族運動 第14章　二つの世界大戦	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:授業内容を理解しようという姿勢で臨み課題に対して協働して解決できる。 b:近代国家について異なる地域、様々な立場から考察することができる。 c:課題に対し、教科書・資料集に基づいた適切な解答ができる。 d:出来事の因果関係を他者に説明することができる。	・ワークシートへの取り組み ・ペアとの取組・発表 ・定期テスト ・課題提出物
3	第4部	第15章　冷戦と第三世界の独立 第16章　現代の世界	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:授業内容を理解しようという姿勢で臨み課題に対して協働して解決できる。 b:今までの学習内容を踏まえ、今後の世界のあり方を模索することができる。 c:課題に対し、教科書・資料集に基づいた適切な解答ができる。 d:出来事の因果関係を他者に説明することができる。	・ワークシートへの取り組み ・ペアとの取組・発表 ・定期テスト ・課題提出物

※　表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現

c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○をつけている。